

# GM ナタネ自生調査報告会・ 生物多様性意見交換会

日時:2025年2月14日(金) 14時~16時

会場:参議院議員会館 B104 会議室 オンライン併用

- |       |             |                            |
|-------|-------------|----------------------------|
| 13:30 | 受付開始(通行証配布) |                            |
| 14:00 | 開会挨拶        | 河田昌東(遺伝子操作食品を考える中部の会)      |
| 14:05 | 全体報告        | 原英二(遺伝子組み換え食品いらない!キャンペーン)  |
| 14:10 | 生活クラブ生協     | 泉屋めぐみ(生活クラブ北海道理事)          |
| 14:15 | あいコープみやぎ    | 辻朗子(あいコープみやぎ理事)            |
| 14:18 | パルシステム東京    | 吉田祐樹(パルシステム東京商品・産直推進部)     |
| 14:21 | コープ自然派      | 杉山千尋(コープ自然派奈良理事)           |
| 14:26 | グリーンコープ     | 薬師寺ひろみ(グリーンコープ生協おおいた理事長)   |
| 14:31 | 中部の会        | 石川豊久(遺伝子操作食品を考える中部の会)      |
| 14:36 | 環境省         |                            |
| 14:41 | 農林水産省       |                            |
| 14:46 | 質疑応答        |                            |
| 14:56 | 事前質問と回答     |                            |
| 15:11 | 意見交換        |                            |
| 15:46 | まとめ、閉会の挨拶   | 天笠啓祐(遺伝子組み換え食品いらない!キャンペーン) |

主催:食農市民ネット(食と農から生物多様性を考える市民ネットワーク)  
(事務局:遺伝子組み換え食品いらない!キャンペーン  
office@gmo-iranai.org 03-5155-4756)

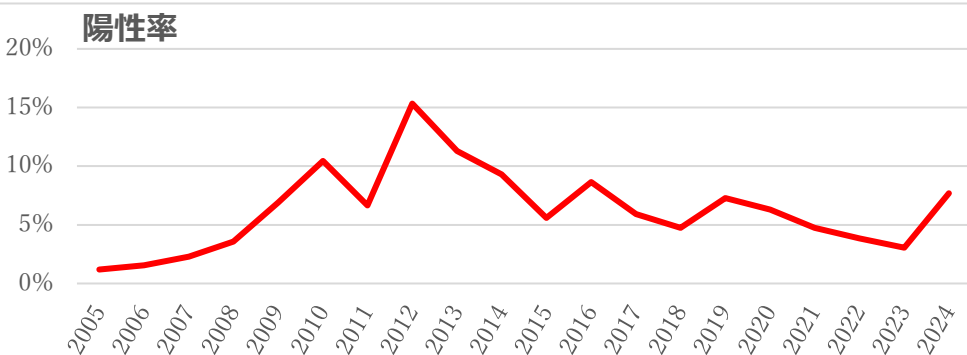
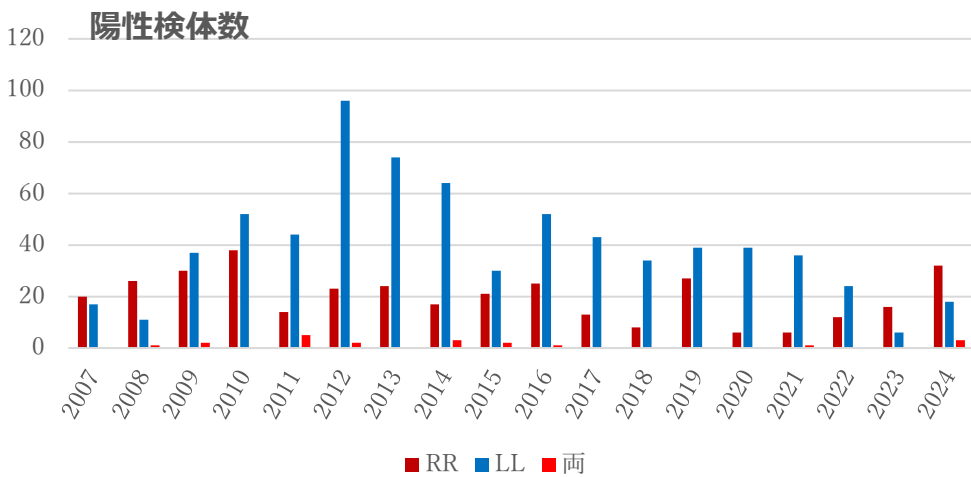
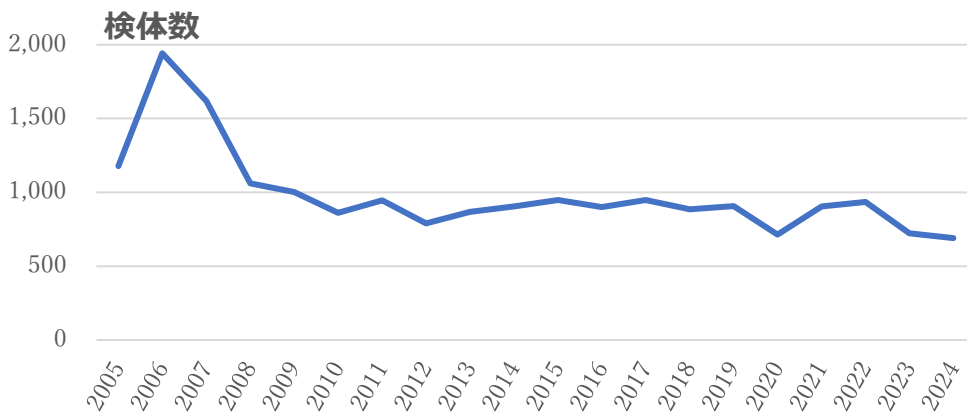
# 2024 年遺伝子組み換えナタネ自生調査のまとめ

## 遺伝子組み換え食品いらない!キャンペーン

- 2024 年の検体数(発見数)は 690 検体で昨年の 95%、ラウンドアップ耐性(RR)32 件、バスタ耐性(LL)18 件、両耐性 3 件の計 53 件の GM ナタネが発見されました。陽性率 7.7%で、前年より増加しました。(疑陽性含む、中部の会分を除く)
- 東京都(疑陽性)、愛知県、兵庫県、熊本県、宮崎県では、昨年陽性が発見されませんでしたでしたが今年が発見されました。
- 今年 RR の方が LL より多く発見されました。(疑陽性含む)
- 三重と福岡では多かったものの、他の県では見つかっては数件でした。陸揚げのない北海道でも引き続き陽性株が発見されました。昨年陽性株が発見されなかった愛知、兵庫、岡山、熊本で発見されました。港付近、幹線道路脇や製油工場周辺が多いものの、運送会社の駐車場からも発見されました。
- 今年、RR 試験紙は Neogen 社製、LL 試験紙は従来使用していた Romer 社製を使用しましたが、RR で発色の遅いものや不鮮明で疑陽性になったものがありました。(結果への影響は不明)

	検体数	RR	LL	両	陽性計	陽性率		2023	2022	2021
北海道	24		3		3	13%	小樽港周辺	2	2	2
青森県	10									
岩手県	20									
宮城県	24	3			3	13%	石巻港周辺	1	1	5
秋田県										
山形県										
福島県										
茨城県	10	1			1	10%	鹿島港周辺	1	4	2
栃木県	16									
群馬県	30									
埼玉県	36									
千葉県	21									1
東京都	32	1	2		3	9%	江東区、多摩市(疑陽性)			
神奈川県	53	2		1	3	6%	横浜港周辺	5	1	5
新潟県										
富山県										
石川県										
福井県										
山梨県	25									
長野県	16									
岐阜県										
静岡県	30	1		2	3	10%	清水港周辺	1	1	1
愛知県	8	4			4	50%	名古屋港周辺		1	2
三重県										
滋賀県	16									
京都府	26									
大阪府	23									
兵庫県	23	2	1		3	13%	神戸港周辺		3	4
奈良県	12									
和歌山県	3									
鳥取県	5									
島根県	5									
岡山県	4	2	2		4	100%	玉野市		1	2
広島県	5									
山口県	12	1	1		2	17%	岩国市	2		
徳島県	5									
香川県	5									
愛媛県	5									
高知県	5									
福岡県	60	13	8		21	35%	福岡市、太宰府市	8	20	19
佐賀県	5									
長崎県	5							2		
熊本県	76	1	1		2	3%	熊本市		2	
大分県	18									
宮崎県	10	1			1	10%	宮崎市			
鹿児島県	7									
沖縄県										
合計	690	32	18	3	53	7.7%		22	36	43
調査都道府県数		34			陽性率	7.7%				

	検体数	RR	LL	両耐性	陽性計	陽性率	LL/RR
2005	1177	12	2	0	14	1.2%	0.2
2006	1942	17	12	1	30	1.5%	0.7
2007	1617	20	17	0	37	2.3%	0.9
2008	1061	26	11	1	38	3.6%	0.4
2009	1001	30	37	2	69	6.9%	1.2
2010	862	38	52	0	90	10.4%	1.4
2011	946	14	44	5	63	6.7%	3.1
2012	789	23	96	2	121	15.3%	4.2
2013	867	24	74	0	98	11.3%	3.1
2014	904	17	64	3	84	9.3%	3.8
2015	947	21	30	2	53	5.6%	1.4
2016	901	25	52	1	78	8.7%	2.1
2017	948	13	43	0	56	5.9%	3.3
2018	885	8	34	0	42	4.7%	4.3
2019	906	27	39	0	66	7.3%	1.4
2020	713	6	39	0	45	6.3%	6.5
2021	904	6	36	1	43	4.8%	6.0
2022	934	12	24	0	36	3.9%	2.0
2023	723	16	6	0	22	3.0%	0.4
2024	690	32	18	3	53	7.7%	0.6



## ◎生活クラブ連合会のGM ナタネ自生調査◎

生活クラブ連合会は、北海道から兵庫県までの21都道府県で活動する34の生活クラブ生協の連合組織です。2024年は19都道府県で合計381検体を検査し、1次検査では7検体が陽性(RR4、LL3)、9検体が擬陽性でした(陽性と擬陽性の合計は16)。

### ◆各地の調査から

**北海道:**小樽港でバスタ耐性ナタネが3検体見つかりました。詳しくは、報告会で北海道から報告します。

**青森:**「生活クラブこども実験室」として八戸ふ頭で採取した10検体を検査し、すべて陰性でした。

**群馬:**陽性の検体が以前見つかった飼料工場周辺も含め、調査を続けています。今年はすべて陰性でした。

**茨城:**鹿島港で、遺伝子組み換え食品いらない！キャンペーンと合同調査を行ない、ラウンドアップ耐性ナタネ1検体を確認しました(いらないキャンペーンの調査結果との重複を避けるため、生活クラブの調査結果からは除外)。

**神奈川:**地域ごとにクリーンアップ作戦(ゴミ拾い)を同時開催するなどして調査活動をしました。今年も横浜港が近い横浜市磯子区で、ラウンドアップ耐性ナタネが見つかりました。

**静岡:**GMナタネがたびたび見つかる清水港で、今年もラウンドアップ耐性ナタネが1検体見つかりました。擬陽性の検体は、PCRで陰性を確認しました。

**愛知:**名古屋港近くで定点観測している東海市で、今年もラウンドアップ耐性が見つかりました。詳しくは、次頁のウェブ記事をご覧ください。

**大阪:**検査には子どもたちも積極的に参加し、人形劇仕立てなどで分かりやすく伝えるよう工夫しました。検査を通し遺伝子組み換え問題について知って考える機会となりました。

**兵庫:**組合員全体に呼び掛けて、自宅周辺で調査する人を募り、3人から応募がありました。製油工場がある深江浜では、雑草の引き抜きがされていて、GMナタネの自生が防げているようです。

### ◆2024年の一次検査の結果(RR:ラウンドアップ耐性、LL:バスタ耐性) 7月19日現在(陽性は擬陽性を含む)

調査都道府県	総検体	1次検査				陽性発見場所/備考(PCR結果など)	2023年(参考)	
		陽性計	緑RR	紫LL	両耐性		総検体	陽性計
北海道	24	3	0	3	0		36	2
青森県	10	0	0	0	0		9	0
岩手県	20	0	0	0	0		20	0
群馬県	30	0	0	0	0		30	0
栃木県	16	0	0	0	0		18	0
茨城県	3	0	0	0	0	キャンペーンとの鹿島港合同調査でRR1検体確認	8	0
埼玉県	36	0	0	0	0		37	0
東京都	21	3	1	2	0	江東区、多摩市でいずれも擬陽性	28	0
千葉県	21	0	0	0	0		19	0
神奈川県	53	3	2	0	1	横浜市磯子区(RR1検体と両耐性1検体は擬陽性。うちRR1検体はPCRで陰性)	50	5
山梨県	25	0	0	0	0		21	0
長野県	16	0	0	0	0		20	0
静岡県	30	3	1	0	2	静岡市清水区(両耐性2検体は擬陽性、PCRで陰性確認)	29	0
愛知県	8	4	4	0	0	東海市新宝町(2検体は擬陽性、PCRで陰性確認)	14	0
奈良県	8	0	0	0	0		5	0
滋賀県	16	0	0	0	0		20	0
京都府	24	0	0	0	0		24	0
大阪府	10	0	0	0	0		10	0
兵庫県	10	0	0	0	0		15	0
<b>計</b>	<b>381</b>	<b>16</b>	<b>8</b>	<b>5</b>	<b>3</b>	<b>3</b>	<b>413</b>	<b>7</b>



↑青森の「こども実験室」のチラシから



↑生活クラブ群馬

# 4/7 (日) GMナタネ自生調査を実施しました

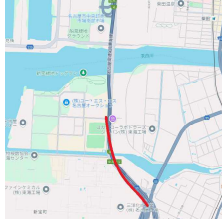
## ～「遺伝子組み換え」「ゲノム編集」など、「遺伝子操作食品」に反対する運動～

GM（遺伝子組み換え）ナタネ自生調査は、全国規模で実施されている市民による調査活動です。私たち生活クラブ愛知では、4/7（日）に組合員7人と事務局2人の9人で実施しました。お天気が心配でしたが、曇りながらも良い天気恵まれ、満開の桜を楽しみながらの調査活動でした。結果は、「**ラウンドアップ耐性**」**陽性**（簡易検査にて）を示したものが2検体あり、この2検はより正確な検査をするため「**農産食品分析センター**」に送り、PCR 検査をおこないます。

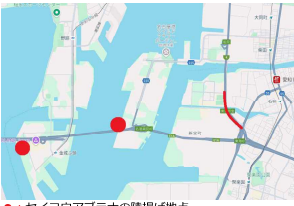
### 【調査場所】



●愛知県東海市新宝町 県道 55 号線沿い



●調査ルート：天白大橋北から東海JCT手前



●：セイヨウアブラナの陸揚げ地点

### 【抜き取りの様子】

このように、黄色の蛍光ウインドブレーカーを着てアピールをしながら作業をします。場所は、定点観測の意味からも例年同じ場所です。「黄色い花」を目印に探し、「葉の形」「鞘の付き方」を見ながらメモをとりながら抜き取ります。



### 【簡易検査】

輸入されている遺伝子組み換えナタネは「セイヨウナタネ」です。私たちは交雑の可能性を考慮し、「セイヨウナタネ」以外にも「カラシナ」「ハタザオガラシ」などを4、3か所から抜き取り、そのうち「8 検体」の簡易検査をおこないました。そのうちセイヨウナタネ2検体が、「ラウンドアップ耐性」陽性でした。

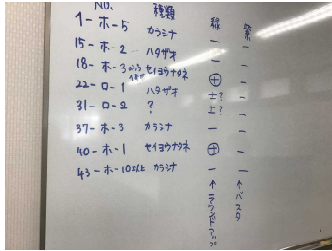
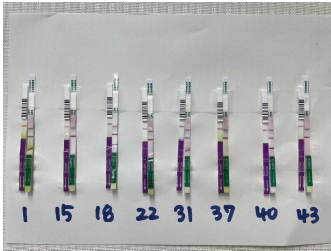


- ①「容器」に「葉」「水」を入れ、爪楊枝でしっかり潰します。
- ②潰したら「簡易検査紙」を入れ、しばらく置きます。
- ③「陽性」なら2本、「陰性」なら1本の赤紫の線がでます。



遺伝子組み換えナタネにはいくつかのタイプがあります。その多くは除草剤に耐性を持つナタネで、除草剤を散布しても枯れにくく耐性遺伝子を組み込んであります。「簡易検査」では、「ラウンドアップ」「バスタ」という2種類の除草剤への耐性の有無を検査することで、遺伝子組み換えされたものかどうか調べます。

「ラウンドアップ」は、アメリカの企業・モンサントが開発した除草剤（農薬）で、その主成分は「グリホサート」、「バスタ」は、ドイツの企業・バイエルが開発した除草剤（農薬）で、その主成分は「グリホシネート」です。



### 【遺伝子組み換えナタネの自生調査とは】

日本はナタネの99%以上を輸入しています。また、そのほとんどをカナダから輸入。カナダではGM ナタネの栽培面積が8080%以上を占めているといわれています。ナタネは、主に食用油加工用、飼料用として輸入されています。そのナタネが運搬時にトラックなどからこぼれ落ち、自然環境中で生育している可能性があります。このため、こぼれ落ち等が想定される主要なナタネの輸入港周辺とその周辺幹線道路を対象に調査を行います。



↑こちらからウェブ記事にアクセスできます。